

■ラクロスについて

棒の先に網のついたスティック（クロス）でテニスボール大の硬質ゴム製のボールを運び、約 180cm 四方のゴールへシュートし得点を競う団体球技。両チーム 10 人、15 分×4 クォーター制で、サッカーとほぼ同じサイズのフィールドで競技が行われる。

その歴史は 17 世紀にさかのぼり、北米の先住民族が祭事や鍛錬のために行っていたものを、フランス系の移民が発見したのが始まりとされている。

現在は 97 の国と地域で親しまれ、世界競技人口は約 110 万人に達する。日本では大学生を中心に人気スポーツとして定着し、国内競技人口は約 11 万人に上る。

2028 年ロサンゼルスオリンピックにおいては追加競技として採択され、日本のメダル獲得が期待される。

■男子世界選手権大会について

最初の男子世界選手権大会は、1967 年にカナダでラクロス誕生 100 周年を記念して開催され、4 か国・地域が参加し、アメリカが優勝した。1974 年には、オーストラリアラクロスの 100 周年を記念して第 2 回大会が開催され、同年に国際ラクロス連盟（ILF）が設立。以降、原則として 4 年ごとに開催されている。

日本は、1994 年の初出場以降、連続して出場を続けている。前回 2023 年のサンディエゴ大会では 5 位に入賞。また、2028 年ロサンゼルスオリンピックで実施される 6 人制（SIXES）で行われた「ワールドゲームズ 2022」では、男子日本代表が銅メダルを獲得。

2027 年の東京大会では、自国開催という舞台で、男子世界選手権における日本初のメダル獲得を目指す。

※「2027 WORLD LACROSSE 男子世界選手権大会」出場チーム数：16 チーム

【欧州】 アイルランド、イスラエル、イタリア、イングランド、チェコ、ドイツ、ラトビア（7 チーム）

【アジア・パシフィック】 日本、オーストラリア、ニュージーランド、フィリピン（4 チーム）

【北米・中米・南米諸国】 ※2026 年 8 月にジャマイカで開催される選手権にて決定（5 チーム）